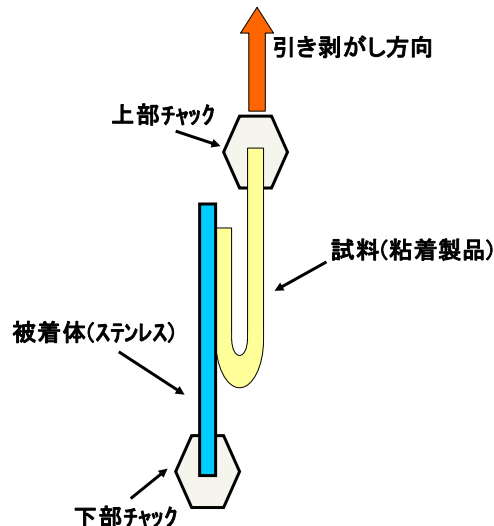


粘着力

JIS法粘着力(JIS Z 0237 準拠 2009 年 12 月 21 日 改正)

- ・試験機 : ロードセル型引張試験機
- ・剥離角度 : 180°
- ・剥離速度 : 300mm/min
- ・試験環境 : 23℃ 50%RH
- ・試験板 : ステンレス板 ※SUS304 BA 仕上げ(表面を冷間圧延後、光輝熱処理に仕上げたもの)
- ・貼付圧 : 2kgのゴムローラーで2往復
- ・試験開始時間 : 貼付1分以内
- ・報告単位 : N/10mm

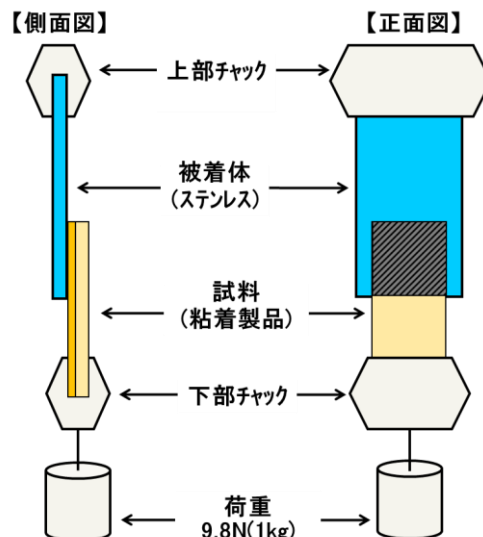


粘着力(リンテック法)

- ・試験機 : ロードセル型引張試験機
- ・剥離角度 : 180°
- ・剥離速度 : 300mm/min
- ・試験環境 : 23℃ 50%RH
- ・試験板 : ステンレス板 ※SUS304 研磨仕上げ(表面を耐水研磨紙#360番で磨いたもの)
- ・貼付圧 : 2kgのゴムローラーで1往復
- ・試験開始時間 : 貼付30分後、貼付24時間後
- ・報告単位 : N/25mm

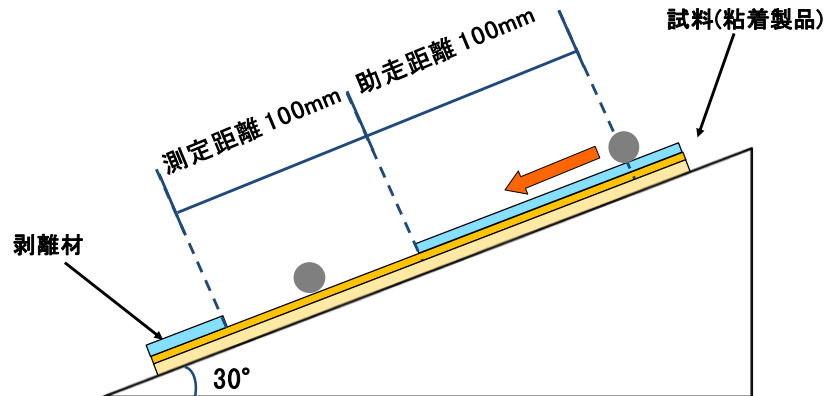
保持力(リンテック法)

- ・角度 : 0°
- ・試験環境 : 40℃
- ・貼付面積 : 25mm × 25mm
- ・試験板 : ステンレス板 ※SUS304 研磨仕上げ(表面を耐水研磨紙#360番で磨いたもの)
- ・貼付圧 : 2kgのゴムローラーで5往復
- ・試験方法 : 試験板に貼付した試料を垂直に吊し、荷重9.8 N(1kg)をかけ、落下するまでの時間を測定するか、または一定時間内にずれた距離を測定する。



ボールタック(J. Dow法)

- ・試験環境 : 23℃ 50%RH
- ・試験方法 :
傾斜角度30度の斜面上に試料を置き助走路(100mm)から、2/32~32/32(インチ)の直径の異なる鋼球を転がし、試料剤面上(100mm)で停止した鋼球の最大直径をタック値※で表す。
※タック値 = 止まったボール直径(インチ) × 32



用語の説明 (各特性値の前にアルファベット1文字もしくは2文字で表記されている用語の説明。)

粘着力

B (Base Material Failure): 基材破壊

被着体から剥がす際、表面基材が破ける現象を示す。多くは紙基材に見られるが、フィルム基材でも裂け易いものなどはこれにあたる。

Cf (Cohesion Failure): 凝集破壊

被着体から剥がす際、被着体に粘着剤が残り、かつ表面基材にも粘着剤が残る状態を示す。

At (Adhesive Transfer): 表面基材と粘着剤の界面破壊(転着)

被着体から剥がす際、被着体に粘着剤が残り、かつ表面基材に粘着剤が残らない状態を示す。

Zip (Zipping): ジッピング

被着体から剥がす際、滑るようにパチパチと音を立てながら剥がれる状態を示す。

保持力

NC (Non creep): ずれなし

一定時間保持力試験の後、被着体から試料がずれなかった状態を示す。

Cf (Cohesion Failure): 凝集破壊

被着体から試料がずれた際、粘着剤層で破壊が起きている状態(被着体に粘着剤が残り、かつ表面基材にも粘着剤が残る状態)を示す。

At (Adhesive Transfer): 表面基材と粘着剤の界面破壊(転着)

被着体から試料がずれた際、被着体に粘着剤が残り、かつ表面基材に粘着剤が残らない状態を示す。